

# 7月の産地情報

輪菊	白菊	愛知・静岡産主体。新盆向けは9日・11日販売分が入荷のピークとなり、精の一世が中心。上位等級の割合は高く、岩の白扇はやや少な目の入荷の見込み。
	黄・赤菊	静岡・愛知産主体。新盆向けは9日・11日販売分が入荷のピークとなり、精の光彩を中心に高冷地産も出始め、昨年並みの入荷の見込み。
小菊		福島、静岡、他。7月の出荷向け各地、作付け量が少なく不安定な入荷の見込み。
SP・ディスプレイバッド		・SPマム：愛知・静岡・栃木・宮城中心。夏系品種に切り替わる。5月の日照不足で若干細目の入荷になりそう。 ・ディスプレイバッド：愛知・静岡は少なくなり、青森産は増加してくる。
バラ		山形、栃木高冷地中心。静岡、愛知の西南暖地は夏場の高温影響で、短めの品物が中心。夜冷の品物に関しては長物の入荷もあり。
カーネーション		北海道・長野中心。高冷地が出揃うので安定した入荷となりそう。
ガーベラ		各産地改植の影響で減少気味で、無花粉が中心。その他、北海道産が少量だが入荷あり。
かすみ草		福島・北海道中心。入荷予定の越冬株が2月に雪害を受け、出荷を諦める農家も。新植については順調な見通し。
リシアンサス		暖地ものがほぼなくなり福島県産が増えてくるが、高冷地が10日ほど遅れている為、後半にかけ入荷増加してくる。
ユリ	オリエンタル	新潟平場のハウス物が中心で、山手と北海道の入荷が始まってくる。白：色は6：4で、八重咲き品種も増えてくる。生育状況は植え付けの遅れ等の影響で、季咲きも含め例年よりも遅れ気味となる。
	スカシ・鉄砲	・スカシLA：埼玉、新潟中心で数量は例年並みで、生育状況はやや遅れ気味。 ・テッポウユリ：秋田、福島、長野より新鉄砲ユリが始まってくる。
洋ラン類		・オンシジューム：国産、輸入共に入荷減。・カトレア：埼玉、千葉共に入荷減。・シンビ：ニュージーランド産中心で数量少なめ。 ・デンファレ：国産が季咲が増える。輸入は横ばい予想。・ファレノ：輸入中心で入荷減。
季節もの		・久留米ケイトウ：愛知産は6月から出荷スタート。下旬から7月にかけて赤軸/オレンジともに順調入荷。 ・グラジオラス：茨城産は6月下旬から7月上旬は圃場切り替えて入荷量減。7月中旬から長野産も始まり微増傾向。 ・リンドウ：低温を受け全体的に遅れ気味。冬場にしっかり雪が降った為株は休めているとの事。入荷の数量がまとまり出すのは6月下旬の予測。 ・ホオズキ：上位等級が少ない。3～4月の低温により生育不良。蓮は生育は遅いものの物日には間に合う。